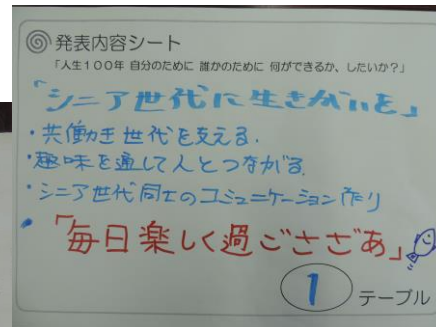
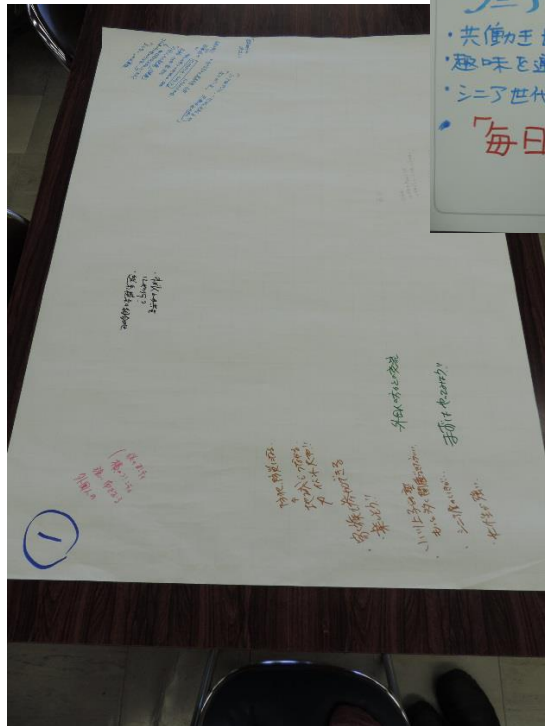


〔1グループ〕

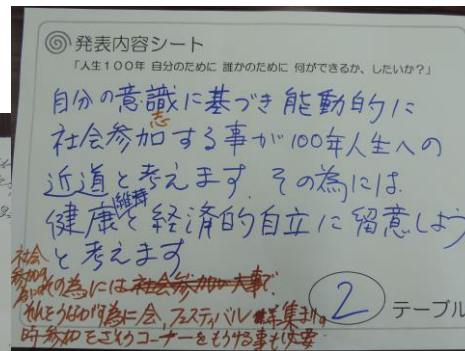
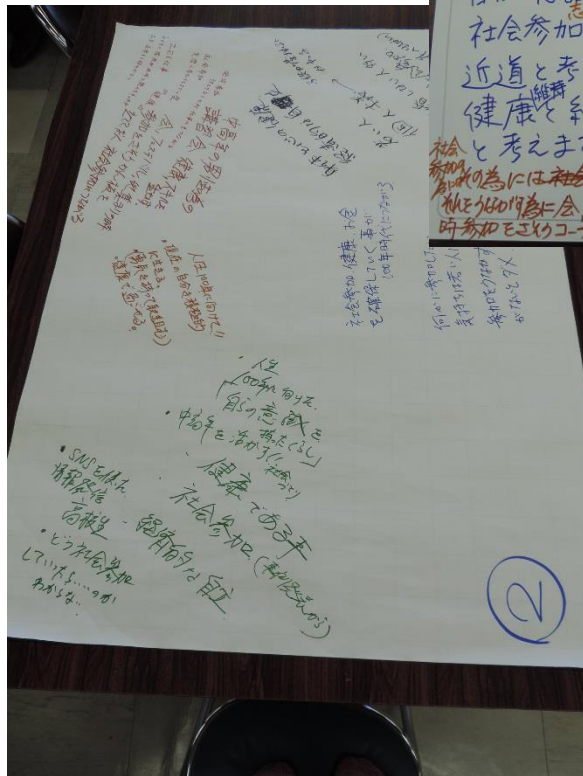


(模造紙記載事項)

- 「若者世代の流出」
- 「シニア時代に一地域を支える←共働き世代に」
- 「生きがいを」
- 子供に対して、伝承遊び

- 女性部と高齢者、子どもたちとのふれあい
- やってみようというスタンス
- 神社の祭り→地域の一体化
- 高齢、壮年、若い世代
- 「外国人への配慮」(焼津) → コミュニティに参加できない
→ 日本文化を知っていただく
- 「支え合い」の必要性
- 外国人との共生は如何？
- 縦系、横系の組み合わせ
- 縦のコミュニティ、横のコミュニティ、強い布を織る(外国人の)
- 家族で参加できる。楽しそう。
→ 地域でつながるイベント大切→防犯、防災になる。
- 小川子ども塾もっと多く開催できたらいい
- シニア層の生きがい
- 女性が強い
- 外国人の方々との交流
- まずはやってみよう!!
- 協働
- 北道原、女性部もあるんですね。お食事会とかふれあいの会
- 子ども塾「まずはやってみよう」
- コミュニティができている町→古い町
- 焼津神社の祭り、女性が強い!
- 楽しそう!! 家族ぐるみの参加

〔2 グループ〕



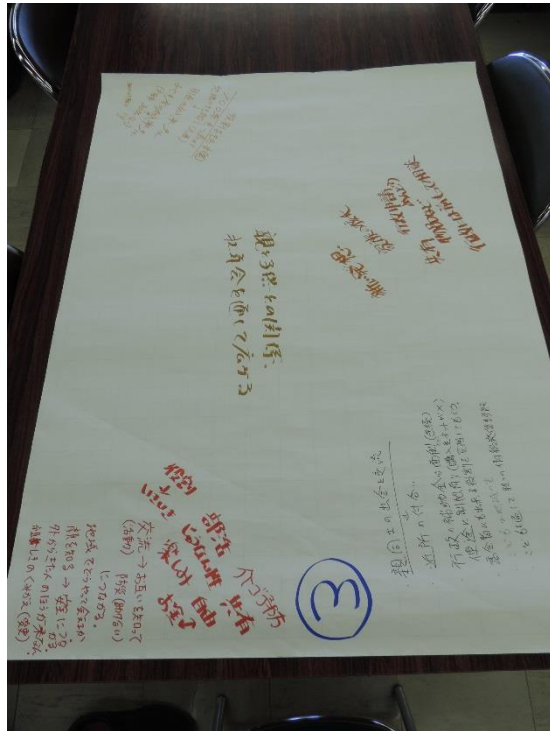
（模造紙記載事項）

- 社会参加、健康、お金を確保していくことが、100年時代につながる。
- 何かに参加したい気持ちは若い人にもある。参加を促す機会が

ないとダメ。

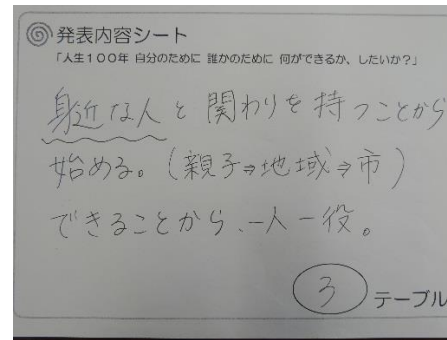
- 身体と心の健康、経済的な自立 若い人、個人主義→子供が産まれると変わる。結婚しない人多い、男性の社会参加（なかなか外へ出ない）
- 楽しむ、健康で楽しく生きる。
- 中高年の男性のための講習会、健康、スキルを活かす。
- 会、フェスティバル、他集まりの時参加を誘う看板を立てておく、社会参加につながる。
- 地域参加、話をする事が仕事にもつながる。
- 社会参加、実際に参加するまでの壁 『健康』
- 土日仕事、子どもの存在が地域と関わるキッカケ。土日、正月すら休みがない。
- 人生100年に向けて!!
- 現在の自分を積極的に生きる。（勇気を持って取り組む）
- 健康で過ごせる
- 人生100年に向けた「自らの意識を持った暮らし」
- 中高年を生かす!!社会づくり
- 健康であること
- 社会参加（事例発表から）
- 経済的な自立
- SNSを使った情報発信、高校生
- どう社会参加していったらいいのかわからない

〔3 グループ〕



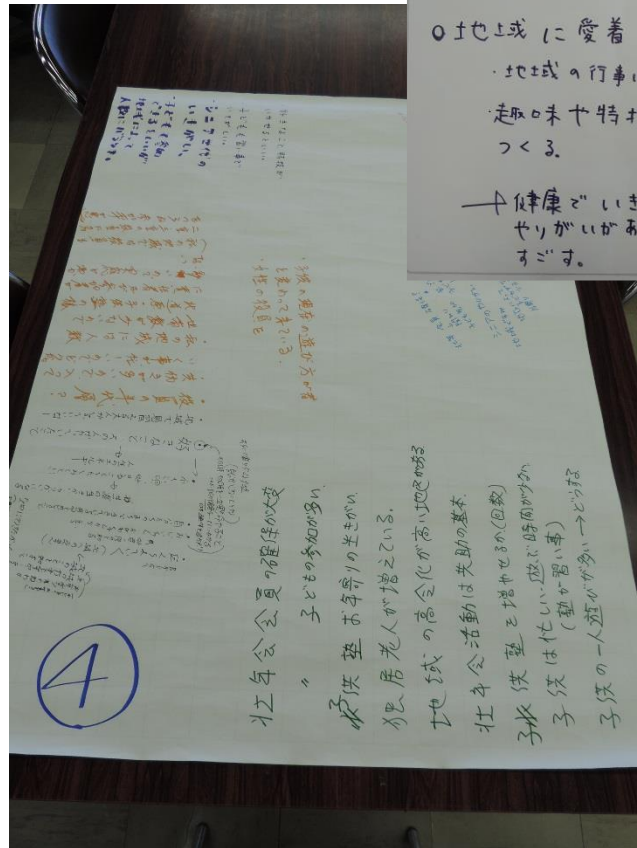
(模造紙記載事項)

- 親同士の出会いと交流→近所のつきあい
- 行政の補助金は面倒くさい(手続き)
使途に制限有り(購入先ネットが×)
- 高齢者にも出来る役割を負担してもらう



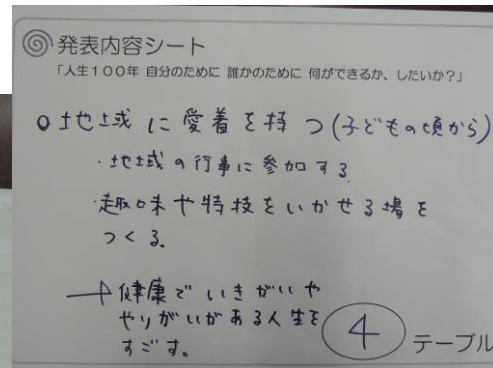
- 子どもは地域の宝
- 子どもを通して、親との情報発信も可能
- 新しい発想、家族の核化、行政申請めんどろ
- 共有、物品など行政には前もって相談
- 役割をもたす(老)100年もつ!には?地域のまち起こし(大事)
→町会の加入率↑したい
- 子ども会の加入率↑したい(戸田市30%くらいです)助けてくれた恩返し
- 親と子供との関係 壮年会を通して広がる
- 役割→いきいき、部活、介護予防、柔軟性、共有、楽しみ、自由⇔お金
- 交流(活動)→お互いを知って防災(助けあい)につながる
- 地域でどうやって会えるか 顔を知る→安全につながる 外から来た人の方が柔軟。
- 組織の組み替え(変更)

〔4 グループ〕



(模造紙記載事項)

- 昔から今へ
- お年寄りから教わる(おじいさん、おばあさん)



- 地域の行事に参加→地域のことを知ること→地域への愛着心
- おじいちゃん、おばあちゃんから学ぶ
- 自分たちのまちで生きている意味を感じること
お互いに頼り合える社会
- そのときそのときを一生懸命やること、これが、自分の得意なことにつながる。仕事、趣味を活かす!!

→好きなこと、その人がやっていたこと

→人生のエネルギー 小さい頃、好きなことをやっておくといい

→生涯の生きがい、やりがいになる

地域で見習える大人がいるっていいな

- 役員の年代層?
- 共働きが多いので、入っていくことが忙しいのでどうかな
- 私の地域には人数、世帯数が少ないので、北海道、子ども塾のように責任者及び参加者が少ないので、実感がわかない。
- 私の地域では、役員も二重、三重の役員に名を連ね、参加率が悪い。
- 子どもの現在の遊び方が昔と変わって来ている。
- 女性の役員を
- 壮年会会員の確保が大変、壮年会会員の子どもの参加が多い。
- 子ども塾、お年寄りの生きがい
- 独居老人が増えている
- 地域の高齢化が高い地区がある
- 壮年会活動は共助の基本

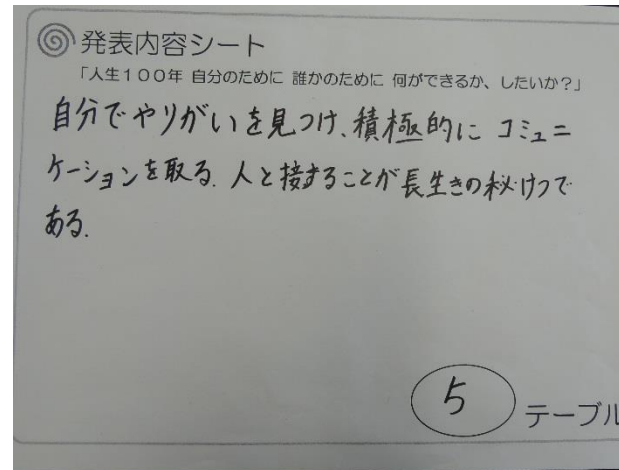
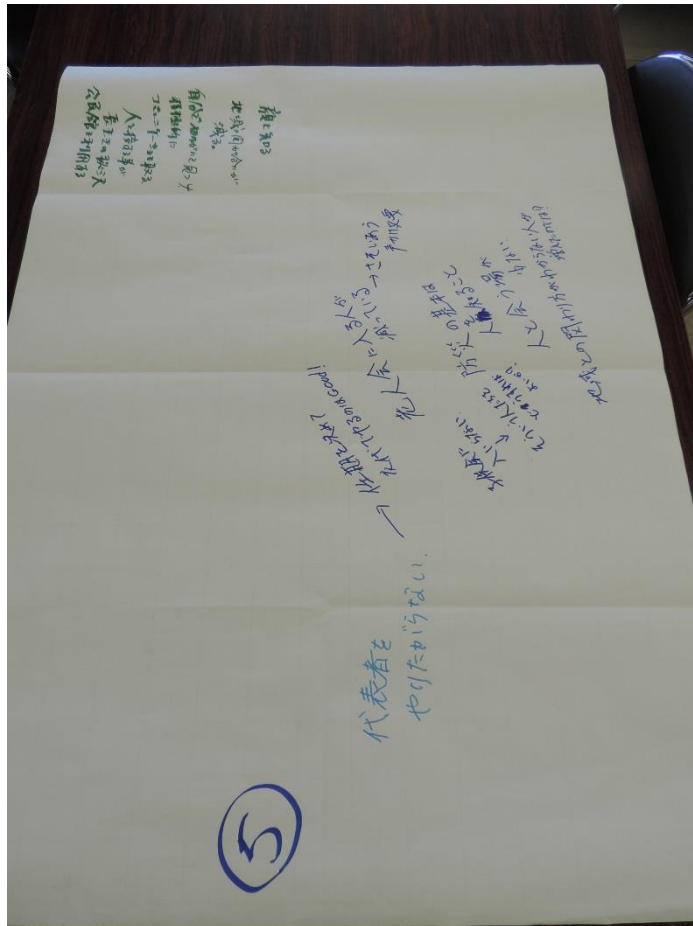
- 子ども塾を増やせるか（回数）
- 子どもは忙しい、遊ぶ時間が少ない（塾、習い事）
- 子どもの一人遊びが多い→どうする
- 壮年、会員確保？

→関わり、子ども参加 習い事が多い、子ども忙しい 1人遊び

- シニアのやりがい
- 地域ぐるみ、地区によって子どもが少ない、偏り、少子高齢化
小川上子ども塾

- シニア世代の生きがいややりがいになっている 地区によって
世帯数の差が激しい、シニアばかりの地区が多い、仕事や趣味
を生かす!地域への愛着心
- 好きなこと、特技がいかせるといい
- 子どもも習い事で忙しい
- シニア世代の生きがい
- 子どもも参加できるといいが、地域によって人数にバラツキ。

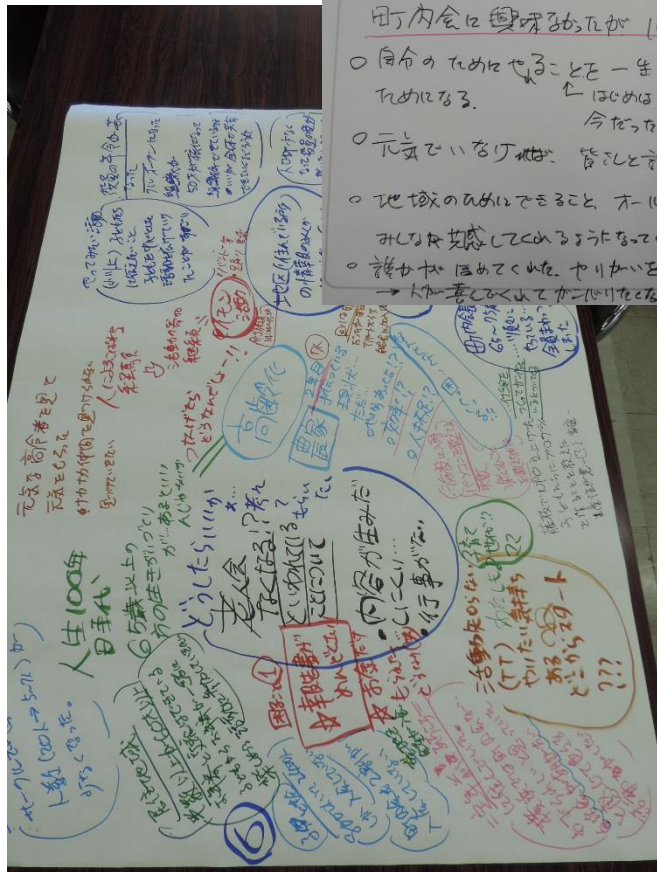
〔5 グループ〕



（模造紙記載事項）

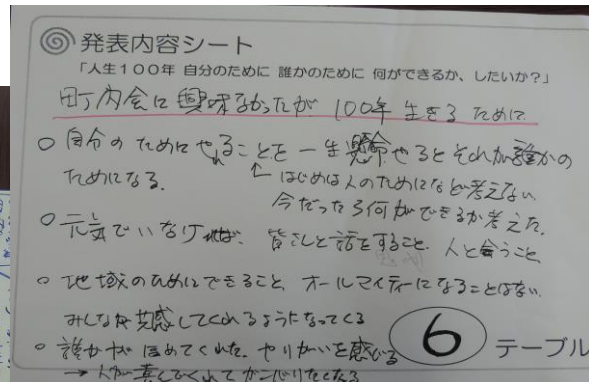
- ・ 顔を知る
- ・ 地域の関わり合いが減る
- ・ 自分でやりがいを見つけ積極的にコミュニケーションをとる。
- ・ 人と接することが長生きの秘訣、公民館を利用する。
- ・ 代表者をやりたがらない
→ 任期を決めて交代でやるのは Good!
- ・ 老人会に入る人が減っている→誘い合う声掛け必要
- ・ 子ども会に入らない→そういう人たちをどうすればよいか?
- ・ 防災の基本は人を知ること
- ・ 人と会う場が少ない
- ・ 地域との関わり方がわからない人が増えたのでは?

〔6 グループ〕



(模造紙記載事項)

- ・ 役員の年齢が若くなった

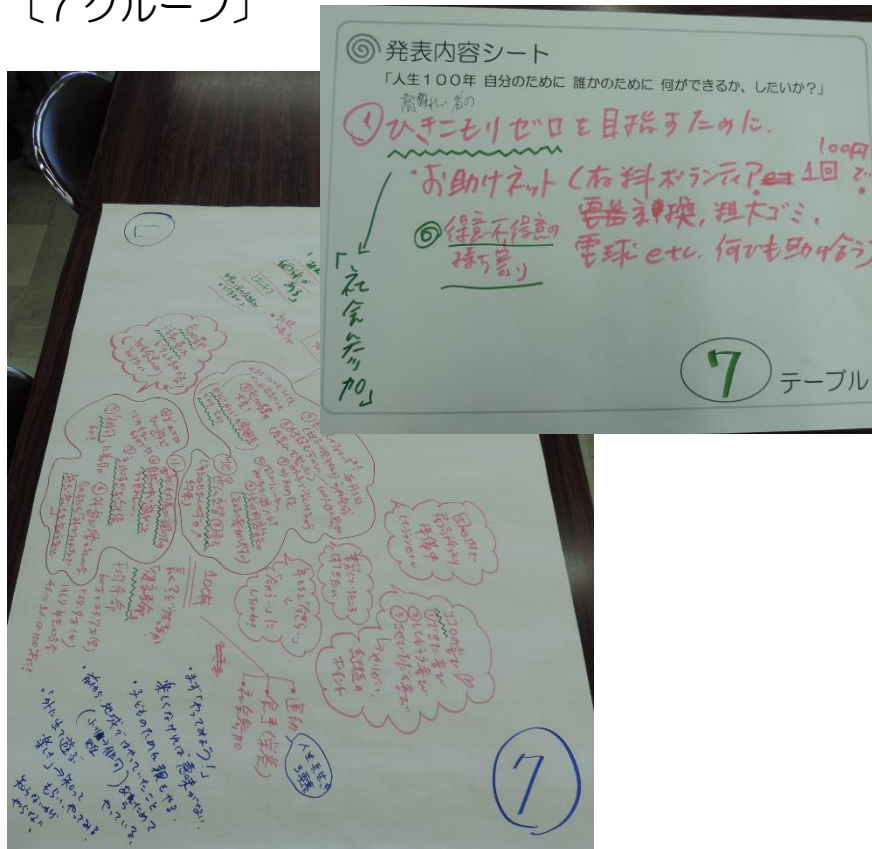


- ・ フルオープンになった組織が、50歳が核になって組織ができているのはいいが、全体が共有できていくだろうか
- ・ 人口が少なくなって役員の受け手がいない。やることも多くなる。(大井川)
- ・ 勤めていると、役をやる人がいない、自治会が成り立たない
- ・ やってみたい活動(小川上)子供たちに伝えたいこと、子供を中心とした活動を広げていけたことがすごい
- ・ 地区(住んでいる所)の情報のみしかはいらない(T_T)→広報等で情報発信—共有したらどうだろうか?
- ・ 町内会長 65~75歳・・・順々にやっている、全員まわってしまった→誰がやるんだ?
→やめちゃうことに yes or No に直面?
- ・ 元気な高齢者を見て元気をもらった。ナカナカ仲間を見つけられない、見つけていきたい。
- ・ 人に喜ばれる経験→活動へ参加継続=イモン活動(介護施設 14:00~15:00)バンド等、踊り、音楽 つなげたらどうなんでしょー!!
- ・ 周りは田んぼだったが、ほとんどアパートだらけ、自治会に加入しない。
- ・ 農家 2年目(7人)、手伝っている現状・・・ただ・・・
- ・ やり方あってる?・効率?・人手不足?なんとなく困っている。
- ・ (施設に入所)パソコンを教えている。失敗(楽しむことを教えなかった)

- 藤枝で NPO 立ち上げた、子供たちにプログラムを作ることを教えた。生産性が悪い(?)家庭
- 仕組みを作って頑張っているについてくる
- 子育て世代!? ママ わたしも。
- 活動知らない(T_T)やりたい気持ちあるどこからスタート???
- 人生 100 年時代 65 歳以上の方の生きがいづくりが・・・あるといいんじゃないか＝高齢化
- どうしたらいいかぁ・・・考えてもらいたい→老人会なくなる!?といわれていることについて、内容が生み出しにくい、行事がない
- 民生委員→サークルでやっているけれど、人数(20 人→5～7 人)が少なくなった。
- 居住地域 半数以上が 60 歳以上、お年寄りと交流はできている子供からお年寄りが一緒に楽しめる活動に参加していきたい。
- 子ども会 8,000 人いて 2,400 人しか入会していない。町内会も 2 割が入会していない。
- 港地区全員が入会
- 困ること①☆報告書がめんどくさい!! ☆お金だけもらえたらどうなる(笑)
- 定年前あちこちに住んでいた。横浜では町内会ない、わずらわしいと思っていた。自治会がありがたいと感じて、いろいろな活動がしたい。

- なんとなくでいたい?
- 自治会によってバラツキ、アパートに住んでいても自治会よくわからなかったけれど、組長やって地区会費集めながら話し合い進める。

〔7 グループ〕



(模造紙記載事項)

- 「みんな価値がある」(松下)◎変わり目の仕組みどうつくるか
- 新規入会少ない
- 男性中心の会になりがちだけど、女性が参加し、子供が来るよ

うになった!

- 第6 自治会旭町区は、60歳まで「中老会」70歳まで「親和会」70歳から「長生会」
- 団地内で居場所づくり準備中(マージャン etc)
- 苦労しているところ聞きたい
- ココロの喜び♡①できた喜び②してもらう喜び③させていただく喜び→やりがい、継続のポイント
- 年とると「今さら・・・」→「今から・・・」にしたいね!

- 100年 —————
 - 運動
 - 食事(栄養) ← 人生長生き 3 要素
 - 社会参加

長く?どう生きるか、「健康寿命」平均余命 60歳+23.7歳(男)
// +28.9歳(女)

1967年生まれの場合、4人に1人は100歳に!

- まず「やってみよう!」楽しくなければ意味がない。
- 子供のために親もやる。
- 前から地域ではやっていたこと(小川地区→俳句)あらためてやっている。
- 「外に出て遊ぶ楽しさ」→知ってもらいやってみる。知らないからやらない。
- 参加費や活動費はどうしてるのかな?(子ども食堂として知りたい)
- ①世代交代②活動内容告知(知る=参加しやすい)③勇気(年

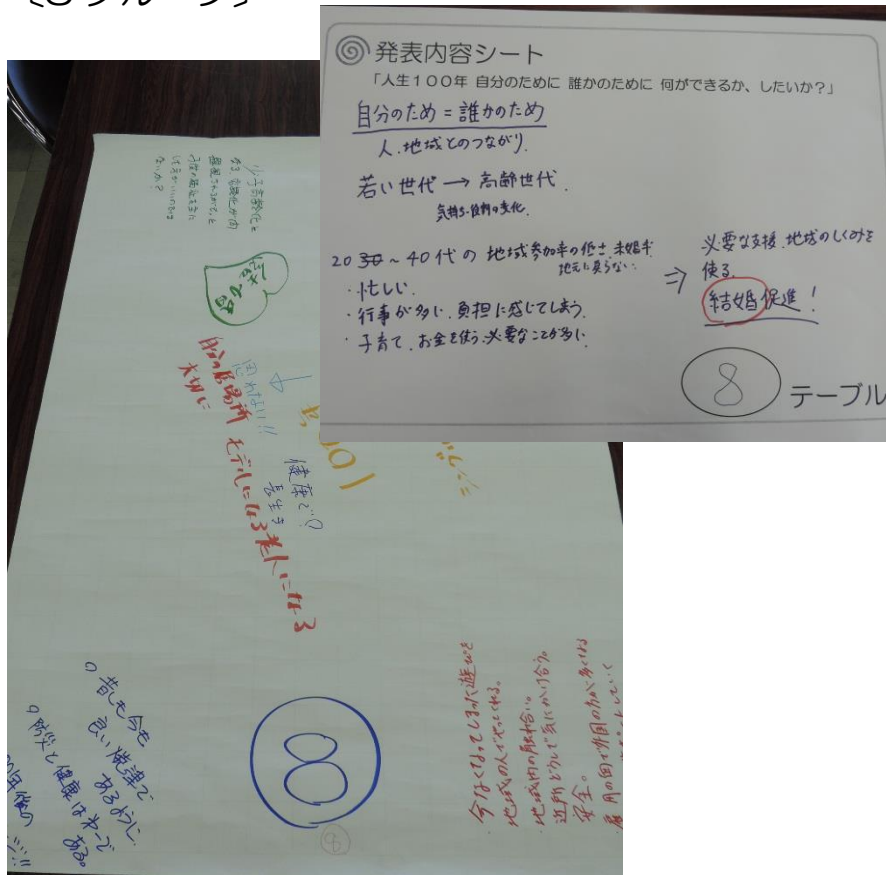
上は口出しせずの約束)④関わりいいなーみんなで遊べる!⑤みんな楽しくみながら⇒まとめ役

⑥継続むずかしい(高草山を楽しむ)ー毎月1回市内全域100人近く参加

⑦熱い人＋フォローする人(親子→親手伝う)◎まず1人でも2人でもから◎設定の工夫⑧参加者集め大変!(やろう!やろう!の雰囲気づくり大切)

- ・⑩①子どものため＝親のため②自然の中で遊ぶこと、うらやましー。③立派すぎない継続④ゲームではない遊び、いじめもなくなるのでは⑤「俳句」に着目がよい!⑥外遊び増えるといいな、今の子どもたち「外でみんなで遊ぶ楽しさを知らない」

〔8 グループ〕

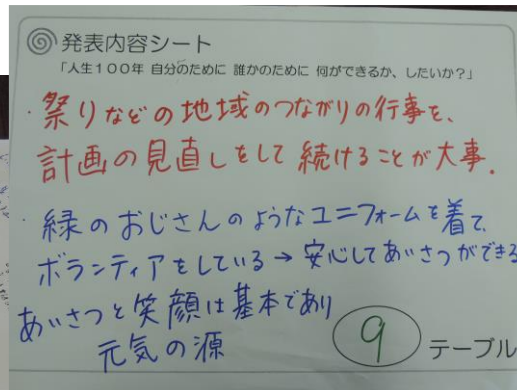
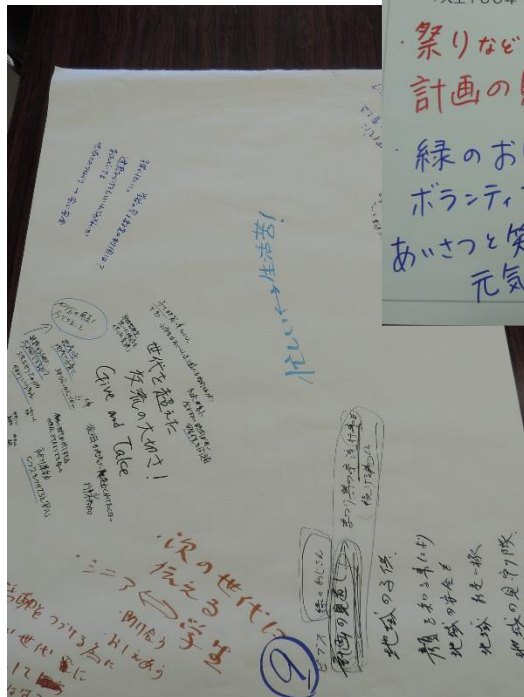


- 100年後の良いイメージ!!
- 結婚
- 少子高齢化となる、高齢化が問題視されるがもっと子供の福祉を主にした方がいいのではないかな?
- 自分のため=誰かのため 人とのつながりによって感じられる。
- 鍵っ子にしない、子供⇔高齢の思いやり 伝統を伝える、つながり双方向 変化に敏感に、地域の安全
- 1人では生きていけない、助け合うクセをつけよう。→やって当たり前の社会
- 100年行きたいと思うか?→思わない!!楽しいビジョンが必要
- シングル家庭に助けを!!
- 健康で長生き!
- 自分の居場所を大切に、モデルになる老人になる
- 今なくなってしまった遊びを地域の人でやってくれる。
- 地域内の触れ合い、近所どうして気にかけて合う。安全
- 雇用の面で外国の方が多くなる、日本語をサポートしていく。
- 補助が足りない

(模造紙記載事項)

- 昔も今も良い焼津であるように
- 防災と健康は第一である

〔9 グループ〕



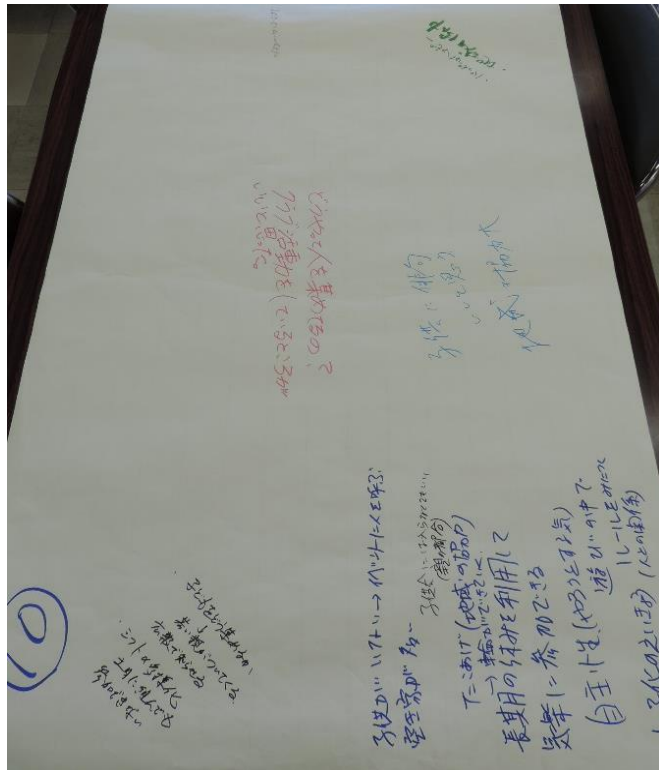
(模造紙記載事項)

- 次の世代に伝える
- シニア⇔学生 ・助け合う・教え合う
- 活動が続けるために若い世代に加入してもらうには？
世代を超えた交流の大切さ！ Give and Take
- 子ども(中、高)の習い事たくさん、小学生はおじいさん達と遊

べる時間ありか？

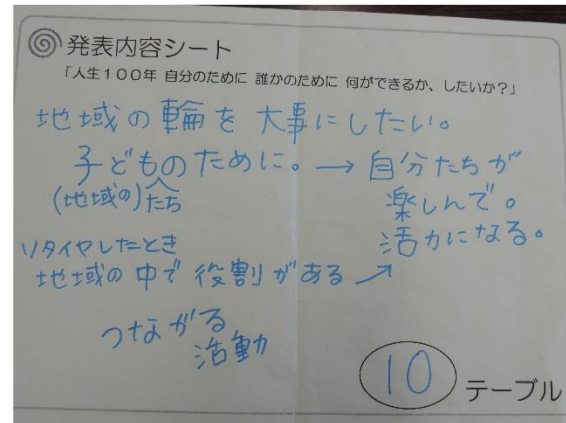
- 交流 東小 金がない 時間がない 安全性も問題
- 学校空き教室、空いた施設を使った交流
- 地域の子、地域で子育て、助け合いの心づかい←大事
- 祖父母も地域に迷惑かけたくない→行事不参加
- 働く世代が忙しすぎる、子供会、PTA すらできない
- 声かけ運動、ビブスをつけてると安心
- 継続するために今何ができるか？大変だから 0or100 やめよう
という考え→やり方の見直し、今できること
- 学校の空き教室の利用は？子供が忙しい。
- 迷惑をかけてもいいんじゃないか？お互いさま
- 地域とのつながり→安心安全
- 次の世代に伝える人を育てる、ボランティアのきっかけ
- 祭りなどの地域のつながりの行事を→計画の見直しをして
→続けることが大事
- 緑のおじさんのようなユニフォームを着て、ボランティアをして
していると、安心してあいさつができる、あいさつと笑顔は基本
であり、元気の源
- 忙しい⇔生活苦！
- ビブス 緑のおじさん
- 計画の見直し→まつり等の交流行事を続けるために
- 地域の子供、顔を知ることにより地域の安全も地域、お互い様、
地域の見守り隊

〔10グループ〕



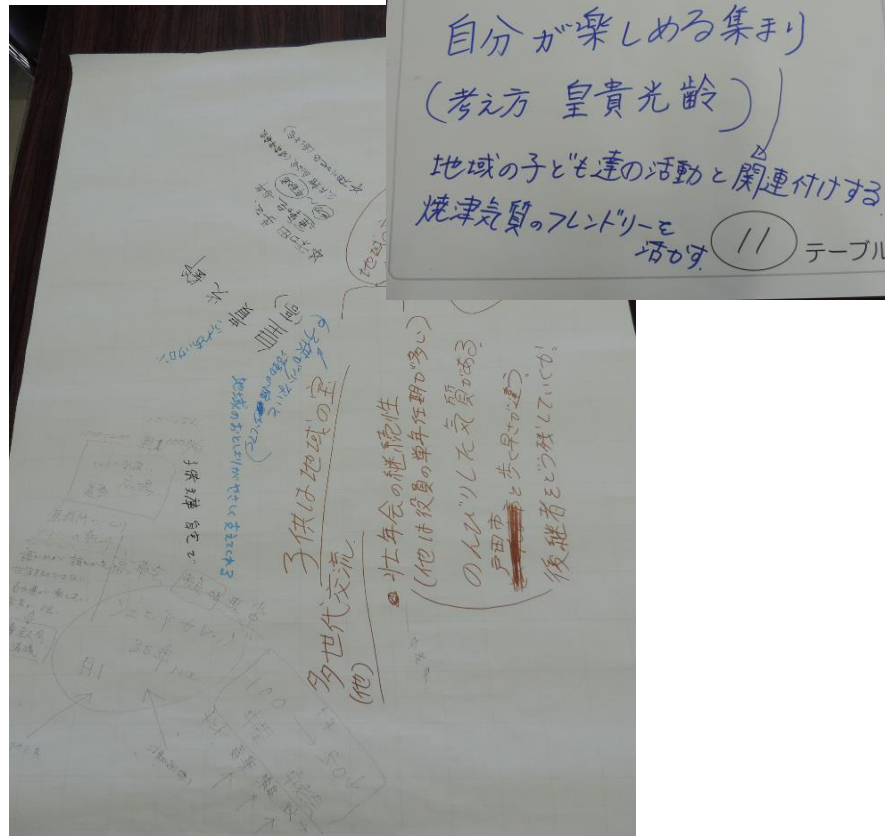
(模造紙記載事項)

- 子供会、町会への全員参加
- ハッピーはハッピー
- 地域協力



- 子供に俳句、いいと思う。地域の協力大。
- 子供がいない→イベントに人を呼ぶ
- 空き家が多い
- 子供会には入らなくてもいい(親の都合)
- たこあげ(地域の協力)→輪ができていく
- 長期の休みを利用して、気楽に参加できる自主性(やろうとする気)遊びの中でルールをみにつく(人との関係)
- 少子化の影響
- 子供をどう集めるか→若い親がついてくる、広報で知らせる
- シフトの多様化、土日に組んでも参加できない。
- どうやって人を集めているの?クラブ活動をしているところがいいと思った。

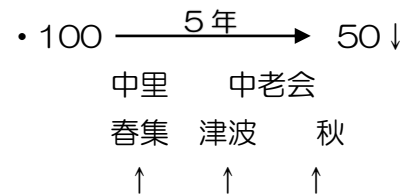
〔11 グループ〕



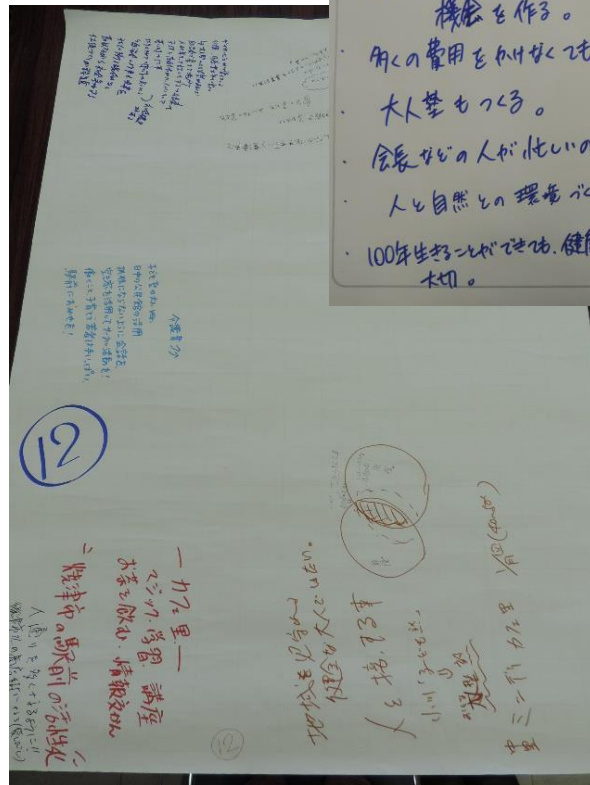
(模造紙記載事項)

- 子供は地域の宝→子供が少ないと、活動が縮小していく
- 地域のお年寄りが、やさしく支えてくれる。

- 多(他)世代交流
- 壮年会(中老会)の継続性(他は役員の単年任期が多い)、のんびりした気質がある。戸田市と歩く速さが違う。後継者をどう残していくか!
- 地域の文化を守っていききたい⇒今の時代に則した変化がしにくい
- ☆和田学区運動会毎年 ⑧~年配者、公民館、自治会(体育委員会) ☆相川地区(自治会)
- 皇(高)貴光齡
- ふれあいサロン
- 子供文庫 自宅で
- ふれあい広場 道原 10-15人 週1 100円/日
10:00~12:00 居場所づくりメンバーの楽しみ 誰かが誰かを世話するのではない、自分達が楽しむ要素が強い⇒老人会消滅
- 高草会教員OB現小中
- ジュニアカレッジ30年以上(月1) 地元民、活動団体



〔12グループ〕

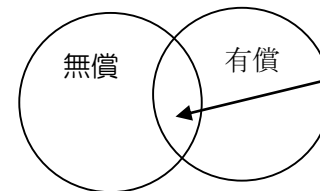


(模造紙記載事項)

- デイサービス、コミュニティーバス
- 子ども塾のお年寄り版をやったら、小会堂の昼間活用
- 介護保険 4,000 円→8,000 円

- お年寄りの居場所づくり カフェ里 勉強したい、体操、おたっしやど 焼津市 17/35
- 循環バスの活用をUP
- 焼津駅付近の活性化
- 地域を見守れる健全な大人でいたい
- 人と接する事 小川「子ども塾」→大人塾
- 中里ミニディ カフェ里 1 回/月(40~50 人)
- ハード→ソフト(高齢者参加)も充実

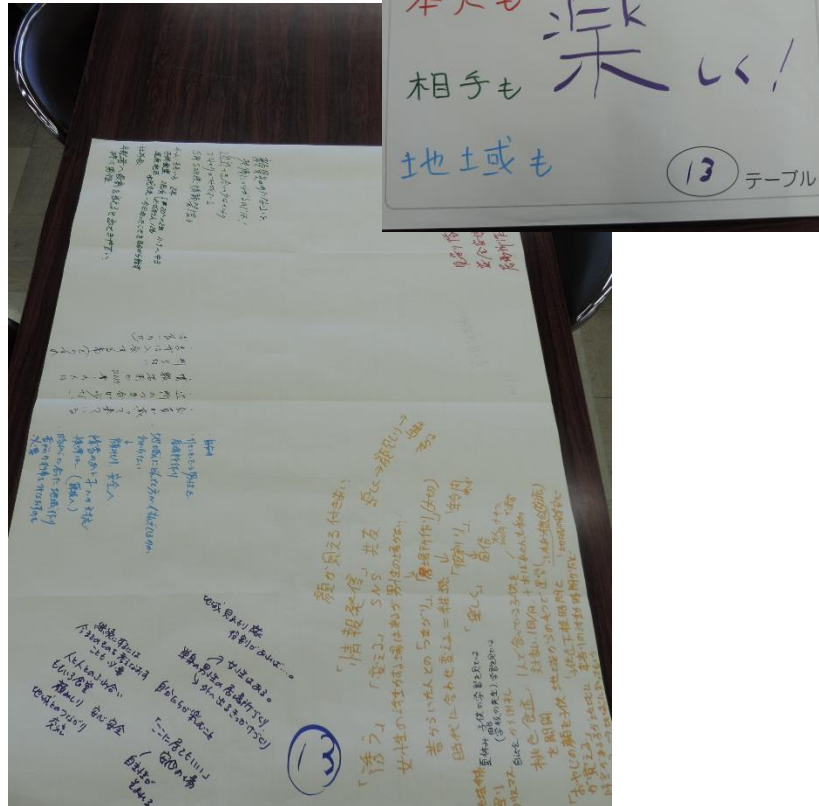
ここをふくらませる高齢社会



- カフェ里 マジック、学習、講座、お茶を飲む、情報交換
- 焼津市の駅前の活性化 人通りを多くするように!! 焼津市立の商店街になる(貸出)
- 若者が来る集まる、スターバックスとかの店を呼ぶ!!
- 介護費UP
- 子ども塾の大人 Ver.
- 日中の公民館の活用
- 孤独にならないように会話を
- 空き家を活用してサークル活動を!

- 働くこと。子育てで若者は手いっぱい
- 駅前におみせを!
- ディサービスが増えている。介護・医療費も年々増加。→大人型の子ども塾があれば、自治会で集まる場所、人が集まって話をする→健康へ、子どもと高齢者が一緒になって
若い時→仕事 仕事をやめて様子が見えてくる
→自治会の行事も改革を
- 子どもの接する機会がない。
- 勤めながら社会参加する仕組みづくりが課題
- みんなが生きやすい焼津市に、地域の子どもは自分の子ども、みんなの子ども
- 嬉しかったこと→シンリーフレットの「ご近所で」の上3つを事業計画に入れたいとの声。

〔13グループ〕



(模造紙記載事項)

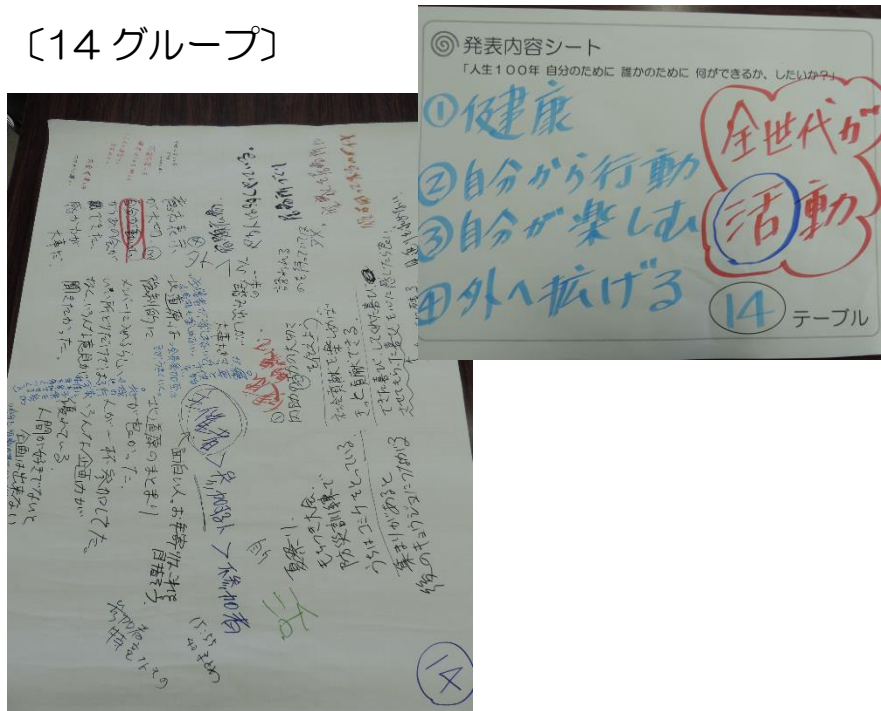
- 会作り、見守り隊、役割分担、安全安心、助け合い、地域ごとの安心度、居場所作り、行動注意
- 顔が見える付きあい、「情報発信」「誘う」「変える」SNS、

共友、楽しく→顔見知り→将来につながる

- 女性の活躍の場はあるが、男性の場がない。→「居場所作り」(大切)→「役割」→「自信」
- 地域行事、祭り、クリスマス
- 夏休み、子どもの学習を見ている。(OB 学校の先生)学習を見ている。自治会から謝礼
- 桃色食堂を開閉、1人で食べている子どもを対象に1回/月+おばあさんも参加(大人300円+寄付で運営)
- 「おやじの顔を子どもが覚える」地域からの寄付で運営、ふれあう機会(交流)→地域の安全安心、子ども達下校時間と年寄りの活動時間が同じ
- 障害がある子が地域にもいる→地域に知ってもらう
- 夢を語る居場所づくり 桃色食堂
- 地域見守り隊 役割があれば・・・。
- 単身の男性の居場所づくり→女性はある。外へ出るきっかけづくり。
- 継続するには、今までのものを考え直すことも必要
- 自分が楽しむこと
- 人と人とのふれあい
- 「ここに居てもいい」安心の場 - 自主性が生まれる
- ももいろ食堂 顔見知り 安心安全
- 地域とのつながり 交流
- 引きこもっている男性を居場所づくり

- 地域にどんな方が住んでいるのかわからない→顔見知り→安全へ
- 障害がある子への対応 焼津は・・・(藤枝へ)
- 時代に合った地域作り、昔からの行事をみなおすの必要
- 会員が減ってきている
- 近所のつきあいが少ない
- 情報活用が SNS 昔の人は判らない
- まずは入会する事(どうすれば良いのか)
- 顔見知りになること、老後につながるのでは!
- 近所つきあいが少なくなり、つながりがなくなっている。
- SNS など使い情報発信を
- チームもいろいろ 2 年 子ども食堂 2 回/月 20 人×2 回
小 1～中 3 おばあさん 12 名
道原地区 世代交代・・・今日あったことを自分から話す
- 壮年会
- 年配者へ役割を与えると、出てきやすい。特に男性

〔14 グループ〕



(模造紙記載事項)

- 宿題広場 やる人は多くやっている。居場所づくり
- 空き家を居場所に
- 役が回って来るのがイヤ
- ①健康、自分が楽しむ②内助の功の大切さを伝えよう③意思表示が大切。自分が動いたからあの会ができた感が大事だ。④外へ
- 社会貢献を楽しめばきっと貢献できる

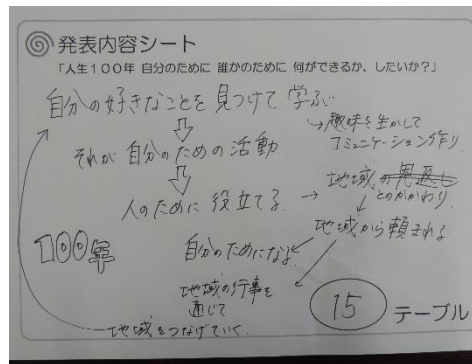
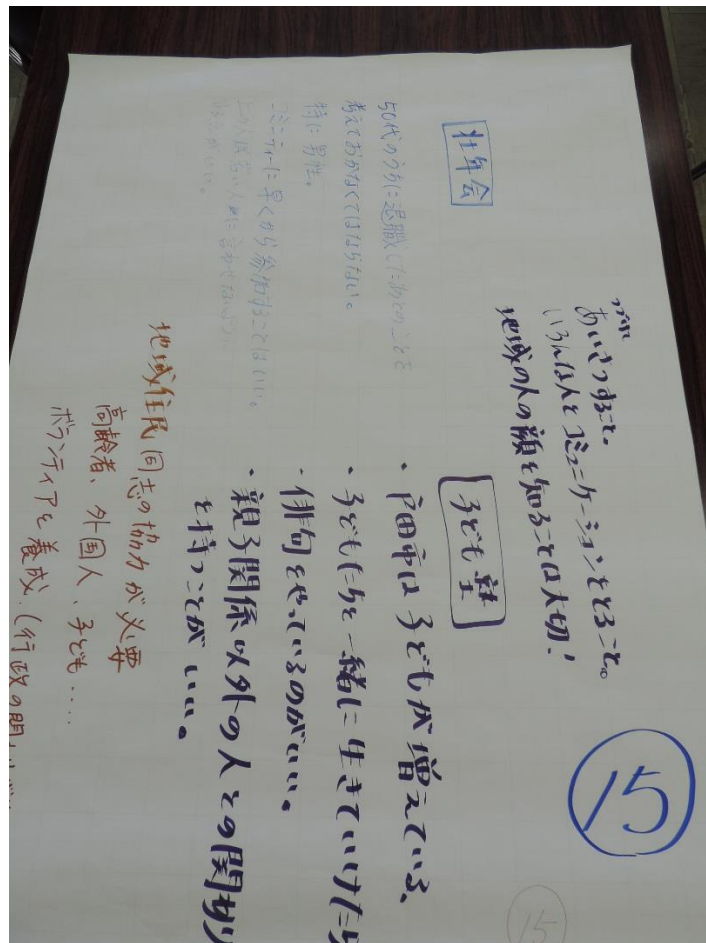
- できた喜び、してくれた喜び、させてもらった喜びを心に感じたら良い。見返りを求めない。← 一番心に残る。
- 夏祭り、もちつき大会、防災訓練でうちはコミケをとっている。
- 集まりがあると、後のキョウジョにつながる。
- 的 活
- 主催者＞参加する人＞不参加者



面白い人、お年寄りはこれを目指そう。

- 北道原のまとまりがよかった。人がいっぱい参加してた。いろんな企画力が優れている。人間が好きでないと企画はできない。
- 参加者特意なもの
- 自分に役割を持たせる。(皆達成感がある) 責任感もつく。
- 需要と供給がマッチしていない。
- 主催者が楽しまないと、お客様も楽しめない。
- 全員参加型の方がうまくいく。
- 北道原は、強制的にメンバーに入れるらしい。いい所どりだけではなく、いろんな意見が聞きたかった。
- 一歩の踏み出しが大事だ。
- 誘われるのを待っていてはダメ。
- 学校と子ども会 PTA つながり薄い
- 高齢者の方、得意なことを教える
- うまく運営する 全員でやる
- お金く楽しみ

〔15 グループ〕



（模造紙記載事項）

- つづけてあいさつすること。いろんな人とコミュニケーションをとること。地域の人と顔をすることは大切！

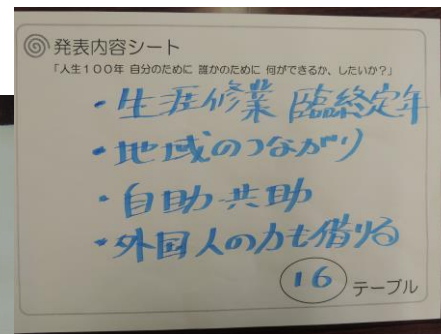
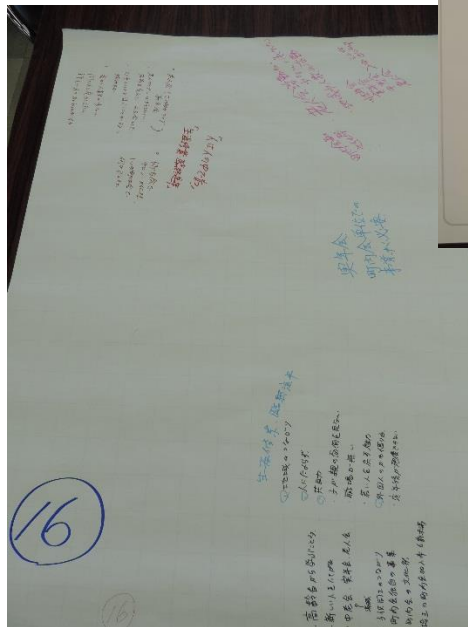
壮年会

- 50代のうちに退職したあとのことを考えておかななくてはならない。特に男性。コミュニティーに早くから参加することはいいい。上の人が若い人に言わせないようにする点がいい。

子ども塾

- 戸田市は子どもが増えている。
 - 子どもたちと一緒に生きていけたら。
 - 俳句をやっているのがいい。
 - 親子関係以外の人との関わりを持つことがいい。
- 地域住民同志の協力が必要 高齢者、外国人、子ども・・・
ボランティアを養成（行政の関わりが必須）

〔16グループ〕



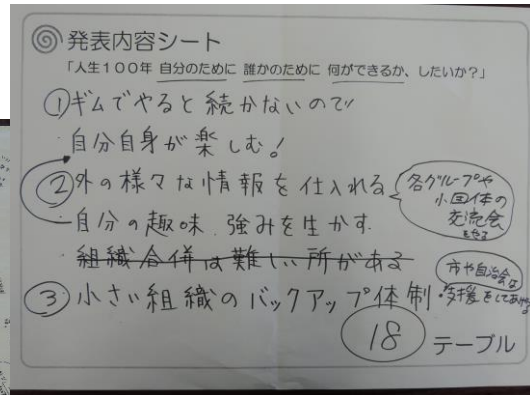
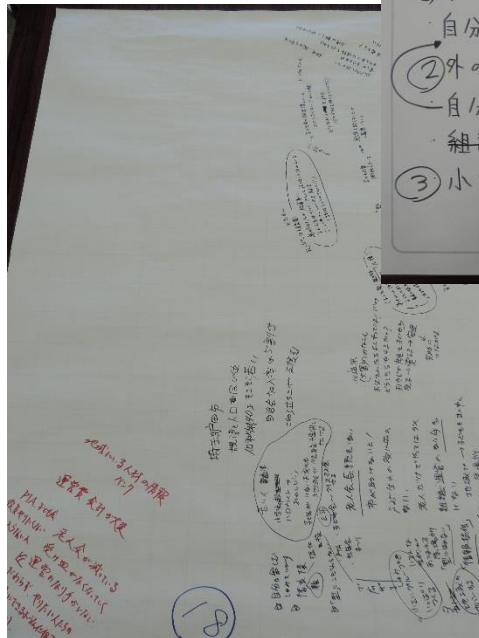
(模造紙記載事項)

- ・「人は人の中で育つ」「生涯修業・臨終定年」
- ・老人会(さわやかクラブ 浜友会)
- ・老人クラブは行きにくい、名前を変えて浜友会とした。
- ・お年寄りから学ぶことが多い、編み物
- ・参加人数が少ない、同じ人と参加したい、新しい人が加わるのが嫌
- ・町内会でサロン、文化祭、1つの町内会で何かできること

- ・町内会ごとの文化祭
- ・老人会活動が少ない!(失くなった)
- ・地域少人数の活動
- ・壮年会 実年会 中老会
 - ⇒ミニディ・ボランティア
- ・老人会
 - ・実年会 町内会単位での事業が必要
 - ・生涯修業、臨終定年
 - ・高齢者から学ぶこと多
 - ・新しい人を嫌がる
 - ・中老会(消滅)、実年会、老人会
 - ・子供同士のつながり
 - ・町内会独自の事業
 - ・町内会の文化祭
 - ・埼玉の町内会加入率6割未満
 - ・地域のつながり
 - ・人に頼らず
 - ・共助
 - ・子が親の面倒を見ない
 - ・職場がない
 - ・若い人を戻す魅力
 - ・外国人のP(パワー)も借りる
 - ・定年後が想像できない

- 店が忙しいので年寄りを使う
- 小学校のボランティア
- 65歳以上の活力
- 役員を先にやる
- 新しく来た人、外国人
- とにかくやってみよう
- そればかり考えない。何でも話せる
- 子供とどこまで接していいか。子供食堂。たいへんだけど行事は開催したい
- 中年会に女性も入ってる。一緒に活動、コラボ
- 夜店なら参加したい
- あいさつ!! 自立!

〔18グループ〕



(模造紙記載事項)

- 地域にいる人材の情報バンク
- 運営費会計が大変
- PTA、子ども会役員やりたくないから入らない人
- 老人会が減っている 受け皿がなくなっていく 運営のなり手がいない⇒方にこだわらず、やりたい人たちの思いを大事にできるような仕組み、居場所づくり

- ☆自分が楽しむ 趣味を生かす
- ☆情報交換、提供交換 - で広げる趣味
- ☆「型」にこだわらない PTA 壮年会まつり
- 小さいグループをいっぱい作る。
- いろんな世代があつまれる居場所「型にはめない」「情報提供」「人材バンク」→あるけど大変「受皿」 地域がカバーする 情報 提供 交換
- 若い人 東益津 小学生の親 ハロウィン→おかしもらう 子どもがいないお宅にも地域で情報提供し広げる
- 去年 子ども会〜クリスマス会やる
- 老人会長続きしない 市が助けないと!
- S25 生れの受け皿がない。
- 老人だけでやってはダメ
- 組織運営のなり手がいない
- 地域で→子どもを真ん中に
- 「異年齢の居場所づくり」「型」をつくらず
- 北道原(大富)のみなさん お父さんたちよくやっている!いいなあ どうしたらやれるかな?おやじの顔を子どもが見る→覚える →安全→共助につながる
- (子ども塾)藤枝市 夏休みは泊まり込み(広幡)、子どもの間で話題に、親の協力もある 2泊3日程度
- 子どもに関わりたい高齢者がいる。元教員という強み、あいさつをよくするようになった

どたせん 元ふたば保育園

- 高校生たちが指導員に子ども主体だけときちんと話し合っている。コミュニケーション不足解消(話し合うことの大切さ!!)
- “ちょびちょび” 塾 見守り隊→子ども塾 声かけると集まってくる??
- 子どもを通してお母さんたちの話も聞ける
- 働きたいから子どもをどこかに預けたい
- 心配なこと→子ども会の脱退増えている。○○したくない!!という親←PTA も
- できない人を許す心の余裕を持つことの大切さ
- 子ども文庫開放している→勉強を教えることは遠慮している
- 夏休み子どもは来ない。普段からの顔を合わせる習慣。

見守り隊

- 安心感ある、大人に対して信頼、安全への配慮(大人から子供へ)
- 義務でやると続かない、楽しむ自分自身がよその色々な情報を仕入れる。
- 趣味、強みを生かす。
- 合併は難しい部分がある。
- 夏休みが長すぎる?役員をやりたがらない
- 埼玉県戸田市 焼津市と人口同じくらい 人口平均年齢40歳
そこそこ若い 自治会加入率は5割くらい これから立ち上げ支援する

[illegible]

「人生100年 自分のために 誰かのために 何ができるか、したいか？」

世に問の交流ともよく

人の為にやらせよう事が自分の為になる

得意分野は皆々共有する

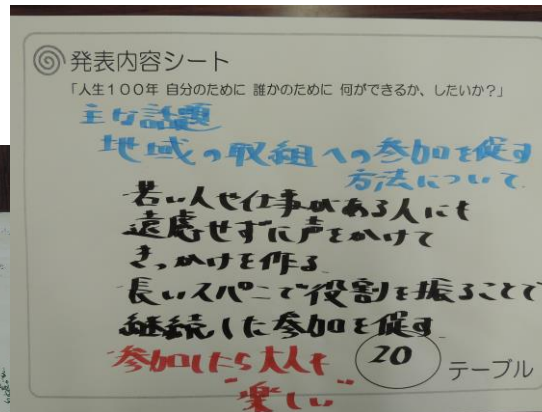
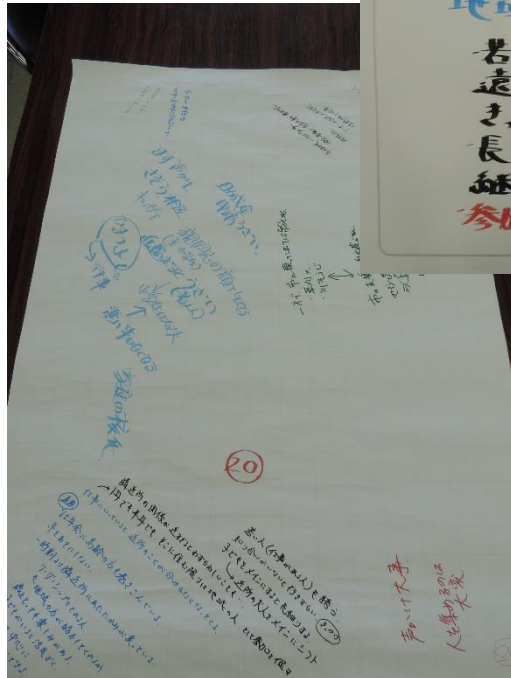
子供 → 大人 大人 → 子供 =

お互いに顔見知りになると安全な町づくりになる

① 9 テーブル

- ・続けるのには背伸びばかりでは大変、少し背を縮めることが必要
- ・活動の出欠自由が良い
- ・自分たちがまず楽しいことが大事
- ・子供のために自分のため
- ・大人と子供がいっしょに楽しみを創る
- ・自分が小さい頃の遊び
- ・ボランティア→自分が楽しむ→自己満足？
- ・眺望楼
- ・行事 準備も楽しい
- ・次の世代へ 世代間交流
- ・子どもたちへのプレゼント
- ・大人も楽しい
- ・顔見知り→安全 回覧→広報
- ・俳句を通じて 風揚げ→自分も楽しむ
- ・手作りのちょうぼろ
- ・健康寿命
- ・市として子どもが考えたことなどを広げていけるのがいい。

〔20グループ〕



(模造紙記載事項)

- 若い人(仕事がある人)も誘う。知り合いがいないと行きづらい(きっかけ)
- 子どもをメインにすると先細りする→近所の大人をメインにシフト
- 隣近所の関係が近すぎるとわずらわしいことも・・・

- 仕事にいとっていると、近所のことが分からなくなってくる→1年でも半年でも、そこに住む限りは地域の人として参加を促す
- (道原) 壮年会に高齢の方も巻き込んでいる。市をあてにしない。
- 一時期より隣近所にあたたかみが戻っている。
- リーダーシップをとれる人←地域の方が協力してくれるか
- 歳をとっても楽しみがある
- 子どもがいると活気づく
- 子どもを中心にコミュニティができる
- 助成金申請うざい
- まず声かけ、誘う、相互、キッカケ
- 親同士の顔を知る(主 小学生)
- 近すぎるとうざい(若い人)→小学生は大丈夫←悪いことはなくなる
- 家庭の核化
- ひまつぶし♡→行事
- リーダーを作る 規制をゆるくならないか
- 子どものためには先細り 大人と子供で差をつける
- 市の助成—しばりが多い(例) 移動に自家用車が使えない 活性化
- リーダーの存在が不可欠
- 継続性が必要
- (任期) 期限決めて交代→短すぎても長すぎても大変

- 子供メイン→先細くなる

- 声かけ大事

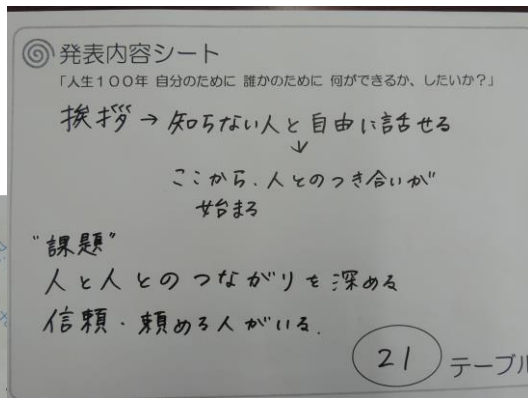
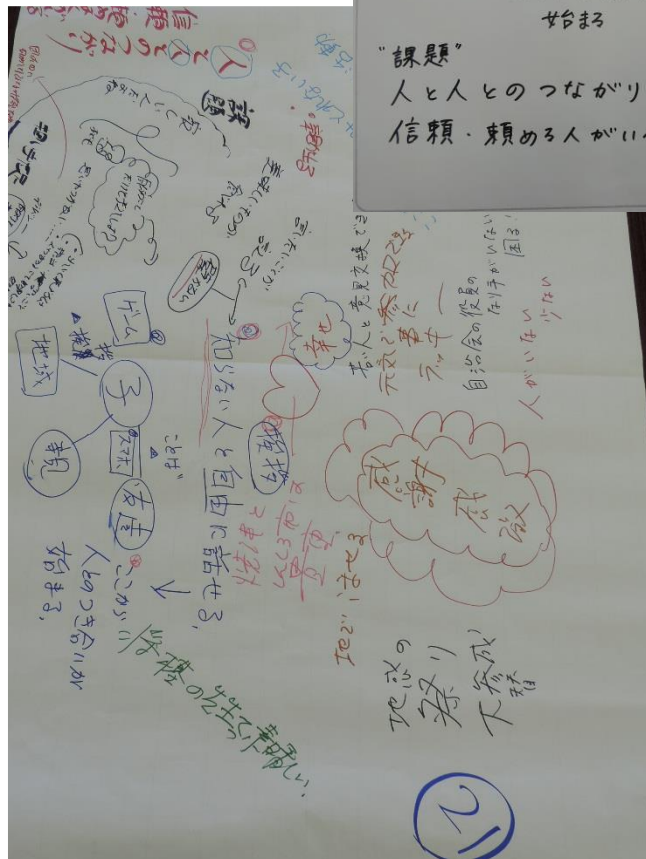
一方で、市に頼ってしまっている部分もある

- 草刈り 川掃除⇔市の支援に自由度がない、やろうと思うと足かせになってしまう

→(自ら行動) しなければ達成できない

- 声かけ大事 人を集めるのは大変

〔21 グループ〕

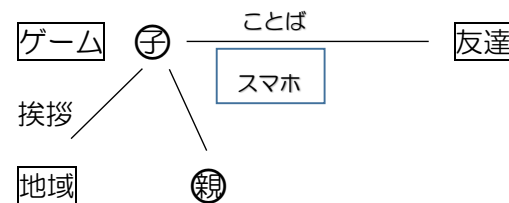


(模造紙記載事項)

・挨拶

言いたいことが言える ← 知らない人と自由に話せる
→ ここから人との付き合い
が始まる 壁がない

・美味しいものが食べられる。



- ・自分のことだけと考えては？
- ・思いやりがない
- ・出ていく恥ずかしさ
- ・部活、習い事
- ・人とつながることの楽しさを知る
- ・担い手不足

寂しい人だね

プライバシー 自身も地域のことを知る

課題

困ったときに助けになるのが情報

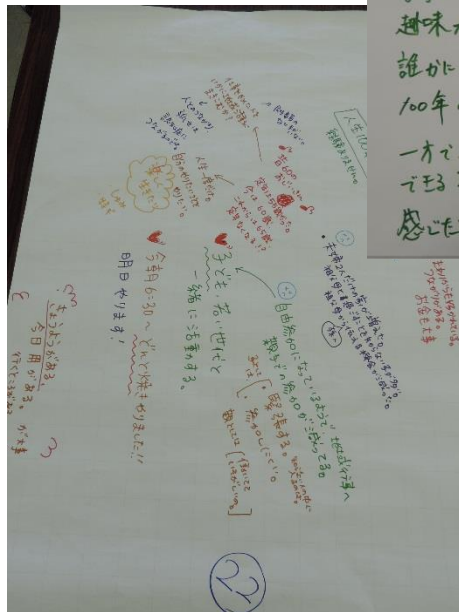
- ・親が出る
- ・人と人とのつながり 信頼・頼める人がある
- ・ここだけ
- ・人の心を読みとれない子

- 地域
- 地道な活動
- 若い世代
- 外に出る
- 自治集会
- 焼津モデル

焼津としんしろ市は貴重 ———♡→ 幸せ

- 若い人と意見交換できる
- 元気で参加できる事にラッキー
- 自治会の役員のなり手がいない! 困る!!
- 人がいない、少ない
- 感謝感激
- 地域の祭り大参(賛)成
- 地で活かせる
- 将棋の先生って素晴らしい

〔22 グループ〕



◎ 発表内容シート

「人生100年 自分のために 誰かのために 何ができるか、したいか?」

まずは自分自身が健康であること。今も楽しい
趣味が大事。(はまがわ) 多勢の出会い。

誰かに頼るのではなく、自立していく力を身につけていけば、

100年の人生を送れる。

一方で、若者の夜通し。高齢化社会に貢献
できる職業を目指す学生たち。将来に希望を
感じるところ。

22 テーブル

(模造紙記載事項)

- (+_+)自由参加になっているようで地域行事へ親子での参加が減っている。

→子としては、
 ・緊張する。知らない人の中にいるのは。
 ・参加しにくい。

→親としては 何かしていて忙しいの。

♥子ども、若い世代と一緒に活動する。

♥今朝 6:30~どんと焼きやりました!! 明日やります!

- きょうようがある。今日 用がある。が大事 行くところがある。

人生一度だけ。自分のやりたいことをやりたい。

楽しく生きたい。趣味、特技

↑

♪昔 60 のおじいさん♪定年は 55 歳だった。今は 60 歳、これからは 65 歳、定年なくなる?

↓

民生委員のなり手がいない。←仕事をやめた人を、いかに地域活動にまきこむか?→人とのつながり、孤独は認知症につながるのでは。

- 人生 100 年時代→よしあしです。

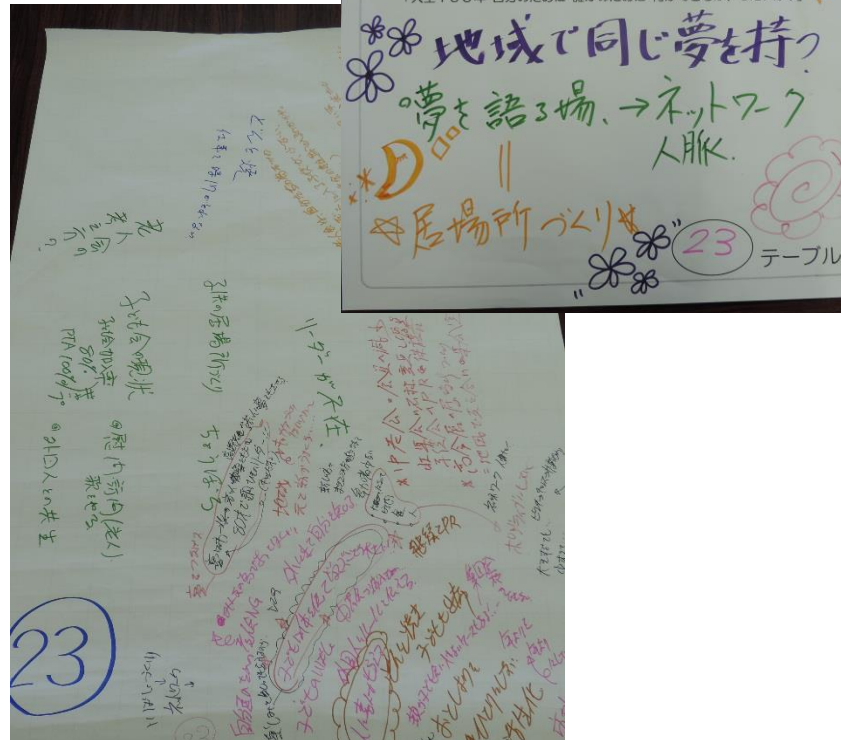
経験ありません。

よしー健康で長生き。まわりからも好かれている。つながりがある。お金も大事。

あしー病気、独居

- (+_+)夫婦 2 人だけの家が増えた。祖父母と過ごすことを知らない子が多い。祖父母から孫へ伝える機会が減った。

〔23 グループ〕



(模造紙記載事項)

- 老人会は、自分たちのためだけの会だ。子供会に入る子供が、少ない。(親が子供会の組織に入るのがイヤ。面倒くさいから・・・)
- 地域の組織にも、皆、担い手がいらない。(時間がない。土日は家

族サービスでダメ・・・。)

- 介護の高齢者を楽しませるために唄を歌っている。(歌が好き)

Q 私にもできることがあるか・・・。

☆焼津市にある公の施設や、空き家を有効活用する。(地域の居場所がない人のために、やる人を決めて集める)

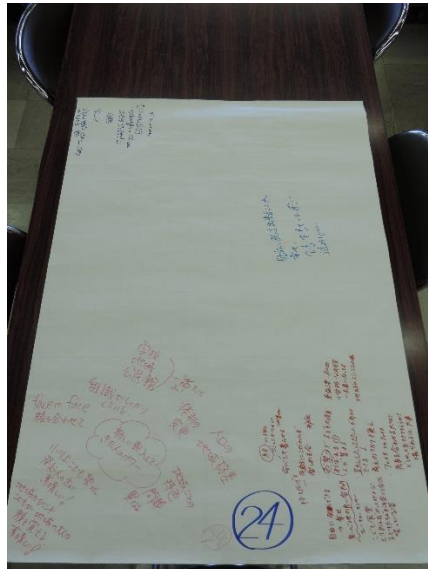
- どんど焼き
- 仕事で時間がとれない
- 老人会の考え方?
- リーダーが不在
- 子供の居場所づくり
- ちょうぼろ
- 子ども会の現状
- 子ども会加入率 80% PTA100%(ギャップ)
- 慰問、訪問(老人)、歌をやる
- 外国人との共生
- 居場所づくり→ネットワーク→
- 自分たちのための老人会NG→みんなのためであってほしい
- 外に出て自分を知る
- 楽しみを知ってもらえるのかー子供は体を作って学ぶことが大きい!!
- シニア
- 子供の居場所
- 中老会→減少ぎみ

- 外国人にルールを伝える
- 人に喜んでもらえる
- 継続とPR
- どんど焼き→子供も出席
- 親が子供会に入れないケースもある→集団登校ができない
- お年寄りをひとりにしない。活性化。
- 生活スタイルの変化
- 年寄りを年寄りにしてはいけない。←市外でも活動
- 大きすぎても少なすぎても
- ステキな案を胸にしまっちゃっているかも→ピンチ→チャンス
→状況かわる
- ネットワーク、人脈
- (担い手、時間、金、人)→ポジティブにもっていく
- 新しい方々巻き込み方が遅いかな？参加者少ない
- 地域 元と新がうまくない・・・きっかけ作りほしいよね～
夢をつなげる
- 夢は市→県が若い人々に夢を持たせる。80歳で網ひきのリーダー！！(チャンピオン)
- 高齢者が若い人に夢を持たせる。

※中老会＝会員の減少 壮年会に名称変更し増員 子ども会へ
PR←保護者

※高齢層の居場所づくり＝地域で支えあい←集会室

〔24 グループ〕



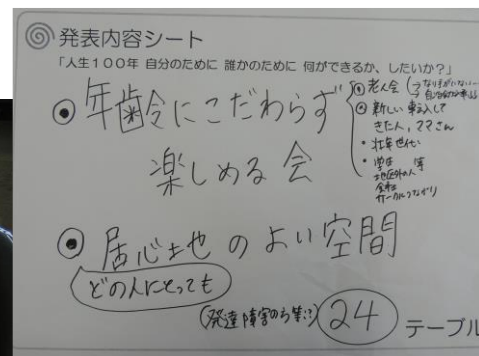
(模造紙記載事項)

新しい転入してきた人のパワー

学校
地域
公民館

一緒だとよい

- 組織がしっかりしている
- 体制の変更
- 人口の地域格差
- 地域ごとの特色、問題異なる



- face to face 顔を合わせて
- 小川子ども塾さん、発起人の方が素晴らしい!
- 地域のイベント 子供が地域の大人の顔を覚える、素晴らしい!
- 自由に発言できる→幸せ 居心地の良い空間 フューチャーセンター
- 子ども食堂 とりあえずやってみよう!
- 子どもたちがお年寄りと交流 笑っている姿
- 絆つくる努力 コミュニケーションの積み重ねー安心して暮らせる
- 枠を広げる一年齢にこだわらず楽しめる会 ~~老人会~~
- お祭りで子どもの顔 おぼえる◎ 人が集まる
- 新しく入ってきた人が参加できる→考えの切り換え
- フェイス トゥ フェイス 顔を合わせる大切さ どうやって出てきてもらうか?場があること大事
- 東益津、和田 小学校・公民館一緒にになっている 地域のコミュニティの場
- 自由に発言出来ることが幸せ でも、でもでは前に進めない
- 役員 新しい方より依頼する
- いごこちのよい空間 地域のお年寄りとこどもふれあいとりあえずやってみよう
- 人間力
- 楽しい!!
- ふだんの地道なつきあいーつながり • 枠を広げる 努力